

いま…… 子供たちは



勉強・進学

おとうさんと一諸に漁を
(私の将来)



浅田小6年
伊藤 秀彦

お父さんも、お母さんも、よく「秀君は、さかなつりがうまいから、船に乗れ」と言う、ぼくも、船に乗ってさかなつりや、いかつりがしたい、そのためには、船のめんきょにうからなければならぬ、しかし、お父さんは、「船のめんきょは、むつかしいぞう」と言っている。ぼくは、まだ小さいけど、大きくなるまでに、よく勉強して、力をつけて、それから、船のめんきょに、いどもうと思う。そしてお父さんみたいに、船のめんきょにうかり、船に乗って、お父さんと、いっしょに、りようがしたい。

したしまれる看護婦に
(私の将来)



浅田小6年
宇野 明代

私の希望する将来は、看護婦になることだ。それは、テレビにもよくできるように、大けがをして、おもしろい病気になっておらんくなったりする人がいる。そんな人たちを看護婦になって、少しでも助けてあげようと思うからだ。それに、病人で苦しんでいる人をはげましたりして、元気づけてあげたいと思う。そして、もし、私の家族で大けがやおもしろい病気になった人がいたら、早くなおってほしいと思うからだ。そのためには、よく勉強しやさしい心でだれにもしたしまれるような、看護婦になりたいと思う。

はばたけ子供たちよ

幼稚園・保育所のお母さんの心

思いやり合うことが大切



野波瀬
増野 初子

子供の屈託のない笑いは、見ていてとてもほほえましいものです。心の底から嬉しさが溢れ出るかの様に「パッ」と輝き、回りの者も思わずつられて嬉しくなってしまう。

物の豊富な時代になり、自分の欲しい物は、殆どと言える程手中に収める事が出来る様になり、生活し易くなりました。今の子供に「こんな物はお父さんやお母さんが小さい頃には無かったのよ。」と言っても、想像もつかないでしょう。欲しい物がすぐ手に入り、飽きれば次の物を要求します。おもちゃについてもりっぱな物が数多く出回り、子供達は喜々として遊んでいます。お菓子も好きなのが食べられます。でも、子供達はそれで満足しているのでしょうか。ただ与えられただけで子供は満たされていると私達は思い違いをしているのではなからうか。子供はもっと他の物を欲しているのではないだろうか。子供は目で語りかれます。嬉しい事、悲しい事があ

ればすぐ表情に出します。親と一緒に本を読む。体を動かす、お風呂に入る時、互いの心と心がふれ合い一つになった時子供は本来の子供の姿に戻ります。物が豊富になるにつれ、心と心のふれ合い、信頼関係が次第に薄れていく様になりません。この様な時代にこそ思いやり合う事が大切だと思っております。

安定した心の上に立ち、明るく元気な伸び伸びとした子供に育て欲しいと思います。



野波瀬
吉岡 節子

感謝の気持を忘れずに

ごく普通の子供を持った、ごく普通の私達は、男の子なら、心大らかに伸びのびと羽ばたいて欲しいと願い、女の子は心優しく素直に進んでくれる事を願います。カリカリ真面目な娘と対照的に「のびのび」しすぎて左右に羽ばたく末っ子を見るにつけ、その無限の願いは育てる親の立ち向かう姿勢でどの様にもなる事を思い知らされます。今の子供達は生まれた時から物は豊かに溢れていた。簡単に何物でも手にする事が出来る今、相

大自然に
とびたとう



豊原
末永 緑

現在、五才と三才の二児(男子)を持つ母です。望むことと言えば平凡でも健康で素直な明るい子に育てほしいと考えております。この三言は親が教えて身につく物だとは思いません。幸いわが町は自然がたくさん残されて居ります。活動的な遊びの中で、敏捷性や体力作り、小枝や葉っぱで創意工夫を養い、色々な虫達と出会い、生命の尊さ大切さを学んで欲しいと思います。何んでも手に入る昨今現在の子供達に、もっともって自然の中へ飛び込んで、いろんな事を勉強してもらいたいと思います。最後に皆さんへ、立派な鱗を背につけ、青い空を元氣よく泳ぐ、真鯉、緋鯉になって下さい。